平成23年度事業計画

郷土おかやまの自然や文化的遺産に対する県民の理解を深め、保護・保全・景観の美化等に努めるとともに、郷土ゆかりの先賢の顕彰と、伝統に根ざした新たな地域文化の創造を目指し、県、市町村、民間団体等と連携して次の事業を行う。

1 文化財等保護活用事業

(1) 自然保護事業

県や市町村等の連携により、ナショナル・トラスト制度の調査や取り組み、全国各地のトラスト団体との情報交換や相互協力を進める。

(参 考)

(社) 日本ナショナル・トラスト協会の岡山県内取得地
兵庫県の個人から岡山県内に所有していた2ヶ所の森を寄付。

○美作・水源の森トラスト

・所在地 岡山県美作市

・面積 620,937 m²

・地目 山林、保安林

・取得日 平成21年12月24日

・取得方法 贈与

○津山・水源の森トラスト

・所在地 岡山県津山市

・面積 46,093 m²

・地目 山林、原野

・取得日 平成21年12月24日

・取得方法 贈与

(2) 伝統的工芸品復活・普及支援

備中漆の復活に取り組む(社)林原共済会を支援するため、当財団では平成6年から真庭市(旧川上村)及び新見市の市有地(山林、計約7.6ha)を引き続き無償借用する。

(3) 文化財の保護

平成22年度に整備した池田光政公「中原御涼所」跡の「甘棠碑と遺愛煤碑」の広報並びに地元町内会等と協働して維持管理に努める。

(4) 伝統芸能の普及振興

由緒ある岡山後楽園能舞台で「岡山後楽園で能をたのしむ会」を開催する。また、茶摘み、御田植祭り、観蓮節、名月鑑賞会などの伝統的な行事を行い、岡山後楽園の活用と伝統の維持に努める。

(5) 後楽園専任ボランティア「後楽塾」7期生の育成

後楽園及び郷土岡山の歴史・文化について学び、その知識を活かしながら、園内ガイドやイベントスタッフとして活動する「後楽塾」7期生を育成し、広く文化財庭園「後楽園」の魅力を発信する。

・予定人員

一般コース 15人程度

外国語コース 5人程度（英語・中国語・韓国語等）

・ボランティア活動 平成23年9月～から平成25年8月まで

・基礎講座 平成23年5月～8月

(講座内容)

① 基礎講座（平成23年5月～8月）

目的：園内ガイドのボランティア活動に必要な基礎知識の習得

回数：13回

内容：後楽園の歴史・建物・タンチョウ・行事・ボランティア一般等

② 教養講座

目的：文化的教養の習得

回数：2年間で10回程度

内容：日本の伝統文化（能楽・狂言等）、後楽園ゆかりの史跡等の見学

(6) 先賢の顕彰

1) 郷土ゆかりの先賢顕彰

財団が多くの資料を収集している内田百閒について企画展を実施するほか、郷土出身偉人の功績を顕彰する講演会や企画展を開催する。

2) 「岡崎嘉平太記念館」開館10周年記念イベントの開催

8月23日で開館して10年となるため、記念館による顕彰事業や日中交流などその足跡を振り返る。

- ・場 所 岡崎嘉平太記念館ほか
- ・時 期 平成23年8月～10月

3) 「犬養木堂記念館 紅葉をみる会」の開催

記念館庭園及び生家において地元と協力して「紅葉をみる会」を開催し、「犬養木堂」の事績と記念館、生家の魅力発信に努める。

4) 「内田百閒」の顕彰

ア 内田百閒の音楽会及び企画展

サラサーテ自身が演奏したツィゴイネルワイゼン（1904年録音）のレコードが残されており、この録音には、途中でサラサーテの声とも言われる謎の吹き声が入っていることで知られる。このレコードの吹き声をモチーフとし、内田百閒が小説「サラサーテの盤」を書いており、今年度はこれにちなみヴァイオリンコンサートや関連の展示を行う。なお、この小説を元に鈴木清順が「ツィゴイネルワイゼン」という幻想的な映画を制作している。

- ・場 所 ルネスホール（岡山市北区）
- ・時 期 平成24年2月予定

イ 三光荘内の「内田百閒コーナー」に財団所蔵の百閒ゆかりの品を展示する。（年4回程度展示替えを行う。）また、内田百閒記念碑園（岡山市中区 旭川河川広場）の維持管理を行う。

2 普及啓発事業

（1） 郷土文化講座等の開催

1) 年4回程度、岡山の自然・文化・歴史に関する講座を開催する。

2) 木堂塾（犬養木堂記念館）の開催

・木堂祭記念講話（5月15日）

3) 岡崎嘉平太記念館講演会の開催

・岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える第十回講演会

（2） 広報誌「きび野」の発行

年4回発行 A5判 約14ページ 4,500部/回

（3） 財団ニュース「お知らせ」の発行 3,000部/回

会員に財団事業の案内等、随時発行・インターネット公開

（4） 現地研修会の開催

郷土ゆかりの自然や文化財等を現地に訪ねて学習するとともに、県内美術館、博物館の優れた美術品の鑑賞会等を年に2～3回程度開催する。

（5） 印刷物等の作成

① 「岡山の自然と文化」の印刷配布

平成22年度郷土文化講座の講義録 No. 31 を編集、配布する。

② 資料集、講演集等の印刷配布

財団で収集した資料や開催した講演記録等を編集して配布する。

(6) 「文化財団の歩み」の編集

引き続き財団発足以来の歴史を編集する。

(6) インターネットのホームページ更新

財団事業の普及を図るため、ホームページの充実を行う。

(7) 内田百閒及び生田安宅（医学者）資料の整理保存

御遺族などから寄贈された内田百閒及び生田安宅ゆかりの品々を整理保存する。

(8) 財団収集資料の公開

① 植物関係図書・文献の整理公開

・植物研究家難波早苗氏から譲渡された資料（書籍約 5,300 冊、雑誌約 7,000 冊）を県立図書館に寄託

・植物標本（約 3,300 点）を岡山県自然保護センターに寄託

② 郷原漆器資料の公開

財団が郷原漆器復活のために収集した郷原漆器（約 60 種類、約 700 点）を岡山県立博物館に寄託

③ 郷土画家の秀作の公開

財団が購入及び寄贈を受けた郷土画家の秀作（6 人、10 点）を岡山県立美術館に寄託

(9) 資料収集・調査研究

文化財等や先賢に関する資料の収集、保存を進めるとともに、その成果の活用に努める。

3 地域文化振興事業

(1) 演奏会等の開催

岡山交響楽団、倉敷管弦楽団等と協働で県民の豊かな情操を育むと

ともに地域における文化の向上に寄与するため演奏会等を開催する。

(2) 伝統的工芸品保存事業

岡山県指定重要無形民俗文化財（民俗技術）に指定された郷原漆器の生産体制の強化と、販売促進、後継者養成に協力する。

(3) 各種団体との共催事業

県・市町村、文化団体等の各種文化事業の共催、後援をする。

(4) 郷土文化財団会員作品展の開催

県内各地で様々な文化的創作活動が促進されるよう、財団会員により制作された絵画や写真等の作品を紹介する展覧会を開催し、一般に公開し、創作活動を促進する。

(5) 苗木配布事業

古くから親しまれてきたウメ・サクラ・モモの苗木を市町村を通じて地元コミュニティに交付し、植栽を通して地域の景観形成とウメ、モモ、サクラの木の文化育成を図る。

4 受託事業

1から3の事業に関連する受託業務を行う。

(1) 県から委託を受け、岡山後樂園の管理運営を行う。

(2) 県及び(財)岡山県環境事業団から委託を受け、タンチョウ野外行動調査並びに自然保護センターにおけるタンチョウ及び傷病鳥獣の飼育、入園者に対するガイド・指導等を行う。

(3) 県から指定管理者として指定を受け、犬養木堂記念館・生家の管理運営と資料収集等を行う。

(4) 県から指定管理者として指定を受け、岡崎嘉平太記念館の管理運営と資料収集等を行う。

- (5) 県から委託を受け、第十一回 岡山県「内田百閒文学賞」の企画・運営を行う。